

## カリキュラムに込めた思い

このカリキュラムは、『共存、共同』の精神をふまえアトム保育士と親が子どもの健やかな発達と幸せを願い作り上げたアトム独自のカリキュラムです。

アトムの特色として、熊取町で唯一午後 10 時までの夜間保育を実施している為、全地域からの利用者がいます。卒園児は 5 つの小学校へそれぞれ入学することになります。

夜間保育の利用者以外にも、父母共フルタイム就労、長時間労働、遠距離通勤の為、18 時以降でも多くの子どもがいます。10 時間以上過ごす園生活ではなにより子どもが緊張感なく、安心して過ごせる場を心がけたいと考えます。

0 歳～就学前までの 6 年間の園生活で「ひと」として育つために子どもに何を体験させなければならないか、子どもが「自尊感情」「自己肯定感」をもてるためには大人はどのようなことに注意しなければならないか、大人が子どもに配慮すべきこともまとめました。子どもの世話で親が時間的に余裕を無くし、親の思いが子どもに通じない 3 歳未満児、子どもの世話を手を取られ子育てが大変と感じる 6 年間の大人同士（職員、保護者）がつながり、助け合い、支えあうことは必要不可欠です。支えあう為には先ず知り合う機会を作らなくてはなりません。その知り合う場を「懇談会」と位置づけています。

保育園時代は我が子の個性を理解し、親同士つながる機会をもち、思春期の荒波を親子ともに乗り越えるための力をつける準備期間と位置づけ、困った時に助けあえる関係を積極的に作ることを職員は応援したいと考えます。

大人の与える影響は子どもにとって大変大きいものです。職員と保護者がお互いを子育てのパートナーとしてけっして敵対することなくしかし時にはぶつかり合いながら、人としてお互いを理解しあうことが大切だと考えます。

そしてそのことが子どもを育てる仲間としての信頼関係を築いていき、子どもに良い影響を与えていくものと考えます。カリキュラムではそんな大人の役割にも触れています。

そして卒園後も小学校、中学校や地域とも連携をとりながら子育て支援に取り組むことを目指します。

卒園した子ども達一人ひとりが、その子らしく豊かな人生を送ることができるように・・・

そんな想いを込めてカリキュラムづくりにとりくみました。

アトム の 保 育 で 大 切 に し て い る 三 つ の 柱

1 自 己 表 現 の 力 を 養 う ( 子 ど も の 体 験 で 大 事 に し た い こ と )

・ “やりたくない”という気持ちをおさえこまず、やりたくない気持ちも素直に表現できるようにする。

・ 子ども同士のトラブルは必要不可欠な体験とし、

① すぐには止めず、結果手が出る場合などにおいても、手出しだけでは相手には自分の思いはわかってもらえないことの体感を通して言葉で伝えることにつながる機会にする。

② トラブルを通して自分の気持ちを表現する事で自分を知り、相手の気持ちに気づけるようになる。

③ トラブルの中で、大人がすぐに答えを出すのではなく、子どもに問いかけ考えさせる機会を作る。

2 1 人 1 人 の 個 性 を 大 切 に す る ( 職 員 、 保 護 者 が 心 が け る )

- ・ 年齢別の成長の特徴を理解する
- ・ 子どもの個性を見極め理解すること  
子どもが引き起こす問題行動にはどんな子どもの思いや、背景があるのか探り、子ども理解を深めるように努力する
- \* 障害児や発達上の課題がある子どもには、個別のカリキュラムを作成し、家庭及び町の関係機関と連携を密にしながら対応します。

### 3 人間関係作り (子ども、保護者、職員)

子どもの自発的な遊びを大切にし、自分を認め、相手を認める人間関係の土台作り

- ・ 保育士と子ども・・・まずは子どもが安心感を持てるように関わり、自己表現で  
きるように共感し、受け止め、理解しながらやりとりを深める。時には保育士の気  
持ちを正直に伝え、子どもにも保育士の心を理解してもらう。
- ・ 保護者と保護者・・・子育ての悩みに限らず、しんどいことなど何でも言える、  
困った時に助け合える関係作り。クラス懇談会、各行事を通して、関係を深め、卒  
園後もつながっていけるようにする。
- ・ 保育士と保育士・・・職員同士で反目関係、派閥グループなどを作らないように  
職員会議では自分の思いや考えを表明する。

アトム職員としての自覚(保育園に求められている使命)をしっかりと持つ

人の失敗やトラブルなどを、自分のこととして捉え責任追及に終わらず共に考え

補い合い次に活かしていく。

- ・ 保護者と保育士・・・ 共同の精神をモットーに、支えあい、認めあえる関係を作っていく。 それぞれの立場を理解し保護者の思い、保育士の思いを出し合う場（各種の懇談会）を活用し子どもにとって最善のことは何かを考えあう。

【保護者として大事にしたいこと、目標とすること、保育士に望むこと】

- 1、 子どもの声に耳を傾け、思いをまずは受け止める。何でも話せるという安心感の土台をつくっていく
- 2、 親の思いで振り回さず、子どもが自己決定していく支えをしたり見守ったりしていく
- 3、 成長の特徴を理解し、個性を大切にしたい
- 4、 保護者、保育士の立場を理解しお互いの思いを出し合えるよう又相談しあえるようにしていきたい
- 5、 保護者同士同じ子育てをしている仲間として悩みを言い合えたり成長をともに感じあえるような関係を作っていきたい
- 6、 子どものことを真ん中に感じたこと、思ったこと保育士さんたちにも伝えていきたい
- 7、 懇談会は積極的に参加していきたい

- 8、子どもも一人の人間として接すること。尊重すること
- 9、子ども一人ひとりの性格をしっかりと見極める
- 10、自分（親）の理想を押し付けないようにしたい
- 11、会話を大切にす
- 12、保護者や保育士とのつながりを大事にし、自分の子、他人の子と関係なく成長を見守る気持ちを大切にしたい
- 13、子どもの気持ち（我が子だけでなく）をきちんと聞き、理解できる大人でありたい
- 14、自分の気持ちを素直に表現できる環境作りをしたい
- 15、自分の気持ちと相手の気持ちをぶつけ合う事を大切にしたい
- 16、年齢別の発達に応じた対応ができる（完璧でなくても少しでも子どもの事が理解できる）保護者になりたい
- 17、子どもの前でアトムの方針などを否定しないこと = 混乱や不信感を与えてしまうと思うので？があれば大人同士で話すのが良い
- 18、たくさん人間たちの中で子ども達が育って（成長）ほしいし、自分自身も育ち（成長）したい
- 19、困っている家庭や保護者の事を一緒に考え助け合う
- 20、小学校に行って椅子に座って話している人を見てお話が聞けるようにしてほしい

い

21、1対1でできても集団でなかなかできないところもあるのできちんとできればよい

22、困っている子や泣いている子に「どうしたん？」と声掛けできるアトムっ子を育ててほしい

23、ケンカなどでケガさせられた子のフォローをしてほしい

24、親として子どもの話を聞いて上げる時間を少しでも多くとりたい